

日本木材学会中国・四国支部

第 28 回（2016 年度）研究発表会（松山）の概要

中国・四国支部長、岡山県農林水産総合センター林業研究所
河崎弥生

開催した概要は、以下の通りでした。

主催：一般社団法人日本木材学会中国・四国支部

共催：森林バイオマス利用学会、公益社団法人日本木材加工技術協会中国支部

開催日：2016 年 9 月 12 日（月）

会場：愛媛大学城北キャンパス共通講棟 A、グリーンホール

（〒790-8577 愛媛県松山市文京町 3 番 愛媛大学城北キャンパス）

日程：2016 年 9 月 12 日（月）

9：00～ 受付

9：30～12：00 研究・技術発表（口頭）

13：00～14：00 研究・技術発表（展示）

14：30～17：00 公開講演会

発表件数 32 件（口頭 17 件、展示 15 件）

研究交流会：2016 年 9 月 12 日（月）18:00～20:00

国際ホテル松山

当日は、日本木材学会副会長の鈴木滋彦先生（静岡大学副学長）にご出席を賜り、大変活気のある大会となりました。今回は、口頭発表 17 件、展示発表 15 件で、昨年より 6 件多い発表がなされ、活発な討議が行われました。

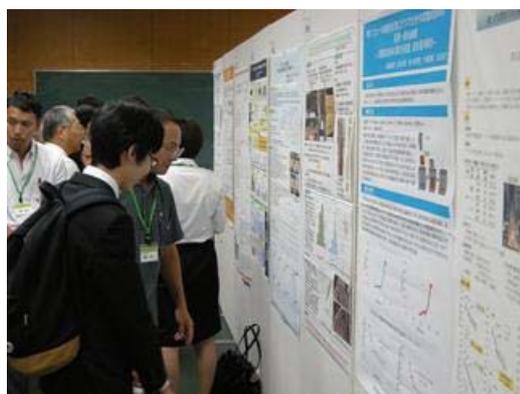
優秀な発表には、「研究発表賞」が授与されました。また、長年の木材研究、木材業界への技術支援に対する業績をたたえ、鳥取県林業試験場の川上敬介（かわかみ けいすけ）氏に「日本木材学会中国・四国支部地域功労賞」が授与されました。受賞題目は、「鳥取県における地域産材を活用した新規木質材料の開発と安定的生産に関する研究と技術支援」です。

公開講演会では、内村浩美氏（愛媛大学・紙産業イノベーションセンター）から「セルロースナノファイバーの特性と用途展開に向けた取り組み」、日浅祥氏（丸住製紙株式会社）から「セルロースナノファイバーの特徴と利用方法の検討」と題して、ご講演いただきました。近年高い注目を集めている分野の御講演で、参加者は熱心に聴講していました。

また、来年の第29回大会は、広島工業大学（広島県）で開催されることが決定しました。



口頭発表の様子



展示発表の様子



公開講演会（内村浩美氏）



研究交流会（発表賞表彰）

翌日はバイオマス利用セミナーを、森林バイオマス利用学会と共催しました。
セミナーの日程は以下の通りでした。

森林バイオマス利用学会総会・セミナー

開催日：2016年9月13日（火）

日程	： 8：30	受付（愛媛大学城北キャンパス正門）
	8：30	出発
	9：30～10：30	森林バイオマス利用学会総会 （愛媛大学地域協働センター西条） 総会、論文賞・功績賞表彰
	10：40	森林バイオマスセミナー出発
	11：00	アサヒビール工場見学 （資源再利用化と工場廃液のメタン発酵施設）
	12：00～13：00	昼食（アサヒビール園）
	13：30～14：45	株式会社サイプレス・スナダヤ見学
	15：00	JR 壬生川駅（一部解散）
	16：30	解散（松山市内→愛媛大学城北キャンパス正門）